

● 広報

おぐわ



— 大きなワラを抱えて —

正月の松飾りや古いお札などをワラやカヤなどと一緒に焼き無病息災などを願う小正月の伝統行事“さいず焼き”（左義長・どんどん焼き）。今年は少雪のため各地区で苦労を強いられた。長者原地区では、マタギの職業体験をしていたN高等学校の生徒も準備から参加。そんな中、地元の子どもたちが背丈の大きさほどあるワラをわれ先にと率先して運ぶ姿がととてもたくましかった。

2020

2

No.784



▲地域のかたがたの協力で行われている「本の読み聞かせ」の様子

地域とともに育む子どもの未来

町民総がかりの教育を目指して

本町では町内の小中高校が平成13年度に文部科学省の研究開発校に指定され「小中高一貫教育」に取り組んで以降、その後も町独自に小中高一貫教育の実践を進めてきました。また、平成29年度には、小中高一貫教育を進展させ保育園から高校までの15年間を連携した取り組みとする「保小中高一貫教育構想」を取りまとめ、今年度から本格的に展開しているほか、小国高校では今年度から3年間、地域との協働による高校改革推進事業の文部科学省指定校となり各種取り組みを展開しています。さらに、子どもたちの多様な学びの場を地域のかたや外部人材等の協力を得ながら共に作り提供してきた「白い森地域学校協働本部」が、昨年12月に文部科学大臣表彰を受賞しました。今月は、本町が目指す「町民総ぐるみの教育」の各種取り組みを紹介します。

15年間の確かな教育を展開するために

保小中高一貫教育の実践

保小中高一貫教育では、郷土を愛し国際的な視野を持った「未来を創る人間力」の育成を目指し、子どもの育ちの連続性に配慮した保育園から小学校、

中学校、高校への各校種間の接続に係る取り組みを強化しながら、「国際」、「情報」、「白い森学習」について、系統性と連続性、互恵性を重視した学習により学びの確かな積み上げを図ることとしています。

そのため、教育委員会や各学校等に学習支援員や学力充実支援員に加え、新たに英語教育支援員や保小連携コーディネーターを配置しながら校種間接続に係る取り組みや子ども一人ひとりの教育ニーズに応じる「特別支援教育」の充実を図るとともに、子どもたちの主体的・協働的な学びを進めています。

幼児教育から学校教育へ

幼児教育から学校教育への円滑な橋渡しを図るため、昨年度



▲小学校の給食準備の様子を見学したおぐに保育園年長児。お兄さん・お姉さんの大盛りご飯にも驚きました。

から保小連携コーディネーターを配置し、保育園と小学校との情報共有や連携・接続にかかわる実践が円滑に進むようその調整を行っています。

昨年度は、小学生になるまでに身につけておくべき目標事項をまとめたアプローチプログラムを作成しました。各保育園ではこれを基に、園での活動内容は違っても同じ目標に向かった保育を実施しています。また、小学校では早い段階で小学校生活に馴染むことができるようにするためスタートアッププログラムを作成し、児童の指導・育成にあたっています。

保小連携コーディネーターの市川恵子さん（白子沢）は、「今年度は、3園の主任保育士のかたと話し合いながら、アプローチカリキュラムの見直しや磨き上げを行いました。各園での到達地点にばらつきがあると、小学校に入学してから子どもが混乱してしまいます。そのため、幼児期の終わりまでに育ってほ



▲新1年生の授業の様子を見学する保育士のかたがた

しい10の姿に合わせて、基礎部分を共通の目標に設定しています。昨年まで学校に勤めていて、保育園を見る機会や保育士のかたと話す機会があまりなく、保育園での子どもや先生方の様子を見て、この姿を小学校につなぐことも大切だと感じました。今は保育園を中心に訪問し、子どもたちの様子などについて、小国小学校の教頭先生と連携して保小連携だより『ほかほか』としてまとめ、保育園と小中学



▲保育園での子どもたちの様子を見守る保小連携コーディネーターの市川恵子さん

校の先生方と共有しています。保育園と小学校で引継ぎはありますが、こうして密に連携しあう形になり、保育園の先生も小学校入学に向けて大事なことを考えたり、小学校側でも保育園からの育ちの連続性を意識したりと、とてもいい流れだと感じています。今後は先生同士が互いに顔が見え、もっと気軽に情報交換ができるようになると思います。と話してくださいました。

地域との協働による高校改革推進事業

小国高校の新たな挑戦

小国高校では今年度から文部科学省指定の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業【魅力化型】」という新たな挑戦が始まりました。

これは、国が新高等学校学習指導要領を踏まえ、Society 5.0を地域から分厚く支える人材の育成に向けた教育改革を推進するため、高校が自治体や高等教育機関、産業界等と協働してコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探求的な学びを実現する取り組みを推進することで、地域振興の核としての高校の機能強化を図ることを目的に行っています。

小国高校では、これまで白い森学習の一環として、地域の諸課題を研究テーマに、大学教授等の協力・指導を受けて研究を行う「地域文化学」を実施してきました。地域文化学は1年次

を対象に行われてきましたが、これを「白い森未来探究学」に改称し、2・3年次まで拡大するとともに、地元産業界等と連携してより地域に密着した実践的な研究活動を展開することとしています。

また、白い森未来探究学で得た知見や経験を活かし、地元産業界等の協力を得ながら農林業に係る営利活動体験や企業発信型の長期インターンシップへの参加など、地域に密着した実践的なキャリア教育に取り組むこととしています。

さらに、これらを実践する中で大学との連携やICT（情報通信技術）を活用した遠隔教育の導入、アントレプレナーシップ（起業家精神）教育等により積極的に外部人材等を活用し、生徒に地域内だけにとどまらない幅広い分野で新しい価値を提供するようなカリキュラムを研究開発することとしています。

小国高校の地主好校長は、「本事業のコンセプトであり、現在の教育の流れとして、学校だけではなく、地域全体を学びの場にしていくことが求められています。それは、植物と一緒に、豊かな土壌にはしっかりと樹木が育ちます。その土壌が教育では地域なのではないでしょうか。そのためにはまず、小国高生だけではないですが、自分の住んでいる地域に興味を持ち理解することが大切です。そうした中で現在の1年生が『白い森未来探究学』の活動をしています。森未来探究学』の活動をしていますが、地域をより深く理解するため、地域の皆さんの協力を得ながらフィールドワークを中心にを行いました。その中で興味



▲県立小国高等学校
地主好校長

関心を持ったものについて12月の文化祭で中間発表し、2年次はそれを探求的に学ぶことを予定しています。サミットを通じて小国高生に生まれた自己肯定感や前向きな姿勢で、自分の興味関心がある分野を突き詰めていってほしいなと思います。昨年4月に赴任し、生徒も教員もやってみようで一步が踏み出せる環境にあることに大変驚きました。それは、小規模校サミツ



▲花泉高校との出会いが小国高校生の心を動かした

地域学校協働本部が文部科学大臣表彰を受賞

地域のかたがたと

共に学ぶ子どもたち

近年、ライフスタイルの変化や人口減少・少子高齢化の進行に伴う影響により、地域内でのつながりが減りつつあります。こうした中、子どもたちの健全な成長にとって、学校教育や家庭教育はもちろん、地域の力



▲かのみず放課後子ども教室ひだまりの活動の様子

が必要不可欠となります。このため、町では町民のかたがたに協力をいただきながら地域全体で子どもたちを育む地域学校協働活動を進めてきました。これは、本町教育の保小中高一貫教育を核として、平成26年度以降に町内小中高校に導入された「学校運営協議会制度」との連携協働体制をはじめ、町独自の「白い森学習支援センター」事業や多くの町民が学校や子どもたちへの学校支援ボランティアとして関わりあうものです。具体的には、子ども見守り隊や読み聞かせ活動などの学校支援活動のほか、閉校校舎を利用した地域のかたによる地域体験活動、町内企業の社員等の協力によるサイエンス講座やプログラミング講



▲町内企業の協力を得て開催している「サイエンス講座」

座、各地区放課後子ども教室での豊かな学びの提供、白い森子ども体験教室での自然体験プログラムや親子英語・体操教室など、校外や地域を舞台に、社会教育・生涯学習・家庭教育等が連携協働する事業を展開しています。

小国小学校を拠点に活動している放課後子ども教室めっちゃスタッフの川崎勇光さん（宮の台）は、「私は3年ほど前から、孫世代の子どもたちと遊べるのが楽しくて参加しています。今はお金を出せば遊べますが、



▲めっちゃで子どもたちと活動する川崎勇光さん

私が子どもの頃はお金が無くても楽しい遊びがたくさんありました。それを子どもたちに教えて一緒に遊んでいます。子どもたちは教えたこと以上に自分で工夫しながら取り組んでいて、とても頭が柔らかいと思いますし、とても勉強になります。今後も体が動くうちは継続して参加したいと思っています。」と話してくださいました。

また、めっちゃスタッフや本の読み聞かせなど多くの活動で子どもたちに関わっている今野美喜子さん（岩井沢）は、「め

つちや設立当初から活動をさせてもらっています。年々子どもたちの変化を感じています。以前は新聞紙などで作ったものを家に持ち帰って遊んでいる子どももいましたが、今は素材も完成品も完璧なものを求めがちになり、失敗したくないという思いが強い子が多く感じます。また、以前は主張の強い子が多かったですが、今はみんな

で仲良くという雰囲気があり、時代の変化を感じています。めつちやでは作り物や昔遊びのほか、伝統行事団子飾りなども設立当初から継続しています。伝統行事は各地区でもやっていますが、年々参加者が減り継続が難しくなっています。そうしながら、伝統行事を子どもたちにしつかりと伝えていきたいです、これからも継続していきたいです。色々な活動を行っていますが、子どもたちみんなが孫みたいで、本当にみんな楽しんでくれています。楽しいですよ。」と話してくださいました。



▲小学校で本の読み聞かせをする今野美喜子さん

このように、子どもたちに関わる多くの町民「白い森子ども応援隊」のこれまでの地域学校協働活動が高く評価され、昨年12月に「白い森地域学校協働本部」が文部科学大臣表彰を受賞しました。

学校・家庭・地域が連携・協働して

町民総がかりの教育体制

人口減少や少子高齢化、AIやIoTなどの技術革新、そしてグローバル化など急速に変化する予測不可能な Society 5.0の未来社会の到来を迎え、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。

これからの本町教育のあり方について遠藤啓司教育長は、「子どもを取り巻く環境変化に加え、学習指導要領の改訂など大きな教育制度改革もあり、新たな環境に適合するため、各学校と町行政が連携を密に取り組みを進めています。その中で、本町教育は保小中高一貫教育を土台に、各学校運営協議会と小中高合同協議会を充実させ、あわせてこの度大臣表彰を受賞した『白い森地域学校協働本部』の活動にかかわる町民『白い森子ども応援隊』の皆さまの豊かな地域教育力による地域学校協

働活動のさらなる内容の充実により、学校と地域が一体となる協働体制を築いていきたいと考えています。学校と地域の協働体制を強化することにより相互の互恵関係を拡大し、地域の皆さまのご協力をいただきながら学校活性化と地域活性化に貢献する小国町独自の『町民総がかりの教育』を展開してまいります。」と話してくださいました。

誰もが予測することのできない未来社会だからこそ、教育の場において学校・家庭・地域がその枠を超えて連携協働することが求められています。

町では、子どもたちの学び、成長に関わる多くの地域の皆さんとの連携・協働を強化するとともに、町民総がかりの教育の実現に向けて「白い森子ども応援隊」の輪をさらなる拡大を図りながら、本町教育の発展とともに地域のさらなる活性化につなげていきます。



防犯広報作品コンクール表彰式 安心安全のまちづくり

小国町防犯広報作品コンクール表彰式が、12月19日、おぐに開発総合センターで行われました。今年、防犯ポスターと防犯標語計450点の応募の中から防犯ポスター3点、防犯標語6点が小国町防犯協会会長賞を受賞しました。

【受賞者】 前列右から小国小学校2年須藤梨乃(りの)さん、小国小学校2年川上蓮十(れんと)さん、小国小学校3年嶋貴絢心(けんしん)さん、叶水小学校5年須貝欧右(おうすけ)さん、後列右から小国中学校2年舟山風海(なみ)さん、小国小学校6年塚原久仁(ひさひと)さん、小国小学校6年佐々木莉珠(りず)さん、小国中学校2年渡部龍汰(りゅうた)さん



令和2年小国町消防出初式 無災害・無火災を願って

小国町消防出初式が、1月5日、おぐに開発総合センターで開催され、消防団員約100人が参加しました。今年1年の町内の無災害・無火災を願い安全祈願を行った後、佐藤義昭団長が「近年、大規模自然災害が多発しており、どこでもそうした災害が発生する可能性があります。我々消防団もそのことを意識し、危機感を持ちながら人命最優先で活動にあたってほしい」と訓示を述べました。その後、消防車両による火災予防啓発パレードが実施されました。



第13回白い森杯小学生・中学生バレーボール交流大会 コート上で熱い戦いを繰り広げる

第13回白い森杯バレーボール交流大会の小学生大会が1月11日に、中学生大会が1月18～19日に町民総合体育館などで開催され、新潟県や山形県から小中学校合わせて35チームが出場しました。出場した選手たちは、日頃の練習で鍛えたサーブやレシーブ、アタックなどチーム全員がひとつのボールを必死につなぎ、どちらも譲らないラリー戦を展開し熱戦を繰り広げていました。小学生大会では地元おぐにバレースポ少が優勝し、3連覇を達成しました。

N高等学校職業体験 マタギ文化体験

学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校の生徒10人が、地域の仕事や生活文化を学ぶため1月10日から14日まで長者原地区を訪れました。例年にない少雪の中、期間中には雪中散策やウサギの巻狩り体験、さいず焼き、団子さし、食文化体験などを行いました。

13日には、旧小玉川小中学校で参加した生徒一人ひとりがさまざまな体験を通して感じたことなどについて、思い思いに発表を行いました。





(株)高橋工務店に総務省消防庁消防団協力事業所表示証交付 地域の消防防災力の充実・強化

(株)高橋工務店（高橋恭史代表取締役社長）が、総務省消防庁から消防団協力事業所の認定を受け、表示証が交付されました。これは、消防庁長官が消防団活動に積極的に協力している協力事業所のうち、特に顕著な功績のある事業所に表示証を交付し、地域の消防防災力の充実強化を推進するために行われており、本町では初の認定となります。(株)高橋工務店は、平成22年に町消防団協力事業所に認定され、消防団活動に出動しやすい社内規定を設けるとともに、事業所の資機材等を消防団活動に提供するなど、積極的に消防団活動に協力をしています。

「酒米と日本酒」

地域おこし協力隊

よしだ ゆうと
吉田 悠斗

昨年の4月から11月までは米作りを教えてもらっていました。今はその米を使って野澤酒造店にて「桜川」造りの作業を手伝わせてもらっています。日本酒が好きな私は、日本酒の販売量が年々落ち込んでいるのを鑑みると、国内外含めて買ってもらう人にどうわかりやすく伝えられるか考えさせられます。例えば日本酒を注文しようとする、多くの店がメニュー表に酒の銘柄だけ書いてあり、どういう味かわからない場合が多いです。またアルコール度数が高いため、お酒が弱い人のための大衆的なカクテルが普及していないのもお客さんが手に取りづらい要因の一つではないでしょうか。売れないから無くなって良いという経済原則では割り切れないものがあり、守りたいと思うファンを募り具体的な行動につなげていく1年にしていきたいです。



▲日本酒の酏を立てている様子

「木に触れて」

地域おこし協力隊

いわい たくま
岩井 拓磨

最近、木工館で作品を作りながら勉強しています。その中で初めて使う道具もありました。ノミもその一つです。現在制作中の作品は「ほぞ」と呼ぶ凸凹を作り、はめ込んで接着する方法を使っています。凸の部分は機械を使用しますが、凹の部分は手作業で行います。ここでノミの出番です。ノミの扱いは想像していたより簡単で、掘り込みや削りはノミの向きを間違わなければ簡単にできます。しかし、簡単とはっておきながら何度も失敗をしています。理由は木の性質を見極めるのが難しいからです。ノミを木目にそって入れるとき、力加減を間違えるとパッキリと裂けてしまいます。こうなれば接着しても強度が無いのでやり直しです。同じ採寸の木材を作り直さないといけないうので大幅なタイムロスにもなります。失敗して学ぶとは言いますが慣れるまでには時間がかかりそうで気が遠くなります。



▲ノミを使って作業しています

山の「豊かさ」を伝え継ぐ

⑨ イタヤカエデ (楓糖)

全国各地で官民挙げての殖産が進められた明治時代。豊かな森林が広がる小国でも例外ではなく、様々な森林資源の開発が試みられました。その一つに、カエデの樹液を原料とする、楓糖（ふうとう）という砂糖の製造がありました。近年、そのようなカエデの樹液（メープルシロップ）を煮詰めたメープルシロップは市販されており、目にすることも多くなりましたが、そのほとんどは国内に自生していないサトウカエデの樹液を原料とする輸入品です。それに対して、この楓糖は主にイタヤカエデの樹液を原料としています。

『小国町史』によると、砂糖がまだ国内であまり流通していなかった明治9（1876）年、イタヤカエデの樹液から砂糖ができることに注目した県は、イタヤカエデの木が各地にどれくらいあるかを調べるよう通牒（つうちょう）を出しました。そして、それに対し、玉川の伊藤平内という人が実際にイタヤカエデの樹液から砂糖を作ることに成功したことや、製糖には特別な機械等が必要なく農家の副業としても有望であることなどを当時の第8大区2小区（現在の南部地区）の副戸長が小隊長を通し県へ報告しています。さらに、それらを踏まえ、明治13年、その技術の普及を図るため百子沢で講習会も開催されたようです。

もつとも、採算面などの問題で、その後、楓糖製造が産業として地域に根付くことはありませんでした。ただし、春先にイタヤカエデの木から大量の、ほのかに甘い樹液が出るということ自体は、この時期に木出しや炭焼きで山に入る地域住民の間で広く知られていたようです。そのことを教えてくれたのは松岡の舟山功さん（昭和26年生まれ）です。舟山さんは、今から15年ほど前に山形県金山町の知り合いからイタヤカエデでのメープルシロップ作りについて教わり、それ以降、町内でメープルサップ採取・シロップ作りをおこなってききました。舟山さんおこなった頃は、町内でそれらをおこなっている人は皆無に等しく、舟山さんは町内でのメープルシロップ作りの草分け的存在と言えます。

「旧暦2月頃になるとイタヤカエデから樹液がどんどん出るんだけど、それがまるで木が涙流しているように見えるつてことで『2月泣きイタヤ』なんて呼んでたところもあるんだ。この辺でもやっぱりみんな知ってて、炭焼きとか薪山（木出し）の時に木さ傷つけて、その脇に弁当箱置いとくんだ。そして、そこにたまった樹液で喉を潤してた。俺が（樹液採取を）始め



▲イタヤカエデ

アカイタヤやエゾイタヤ、オニイタヤなど数種を総称したもので、葉の縁にギザギザ（鋸歯）がないのが特徴。



た頃は、まだ昔の人がいて、そういうことを聞いたね。」と舟山さんは言います。

「早いのだと2月頭から(樹液は)出るみたいだけど、やっぱりよく出るのは2月の下旬から3月の半ばぐらいまでだね。天気の良い日はすごく勢いよく出る。寒い日はダメ。だいたいみると(気温)5度以上にな

ると出るな。マイナスになるとまずほとんど出さない。

場所によっても出る量は全然違うんだ。やっぱり日当たりの良いところのが良いみたいだ。そこに生える枝振りのいいやつね。幹の太さによっても違って、自分は大抵胸高直径が30cm以上のもので採ってる。そういう太いやつで、条件が良

ければ1日で5Lはたまるか、毎日採りに行かなきゃなんねえんだ。

持ってきたサップ(樹液)は家で、35分の1になるまで煮詰めてメープルシロップにするんだ。プロパンガスでやってるけど、本当は薪ストーブでとるとじっとり煮る方が良いんだな。火力が強いとセルロースが残りやすくなるんだわ。だ

「今、全国的に天然シロップとか健康食品ということでメープルシロップが注目されてるけども、商品としてはいろいろと使いにくいみたいなんだな。どうしても価格もそれなりになってしまうし。それよかサップのまま売るのが良いかも知れねえな。例えば、水の代わりにサップでコーヒー淹(い)れると香りが良いんだ。

ただ僕は、そうした商品としてでなく、子どもたちの自然体験活動のなかでサップ採りをしたり、シロップを作ったり。そしてそれをお菓子にかけて食べたり、なんてのが一番だなと思ってる。サップ採り自体が面白いんだわ。たくさん出てくると楽しくてよ。」と舟山さん。

まだ樹々のほとんどが冬の眠りから覚めていない静かな山中で、一足早く春の訪れを知らせてくれるメープルサップ。それは、産業化と少し距離をおきつつも、等身大で自然を愉しむ「豊かな」暮らしへと私たちを誘(いざな)う、白い森からの贈り物なのです。



写真3



写真1



写真2

採取方法 (舟山さんの方法)

- ①ハンドドリル(キリ)で穴を開ける(深さ4cm程度)
〈写真1、写真提供=舟山功氏〉
- ②開けた穴にシールテープを巻いたカップリングを埋め込む
- ③別のカップリングにホースをつけ、埋めたカップリングと接合する
〈写真2、写真提供=舟山功氏〉
- ④ホースを採取用ポリタンクに差し込む
- ⑤雪が溶けても動かないよう採取用ポリタンクを紐等で固定する
〈写真3〉

樹液が出なくなると、ホース、カップリング等を外して終了。
(穴はそのままにしても1年ほどで自然にふさがる。)

町・県民税申告相談のお知らせ

令和2年度（令和元年中）の町・県民税申告相談を行います。申告相談は3月13日までとなっておりますので、忘れずに申告してください。なお、申告には個人番号（マイナンバー）の記載と本人確認（個人番号と身分の確認）が必要です。

■町・県民税申告が必要なかた

申告が必要なかたは、「令和2年1月1日現在で、小国町に居住されているかた」です。ただし、次に該当するかたは、町・県民税申告書の提出を省略することができます。

▼税務署に確定申告書を提出したかた

▼年末調整済みの給与所得のほかにかた収入のないかたなど

※申告書が送付されていないかたでも、令和元年中に収入があったかたや年末調整済みの給与以外に所得があったかた、各種所得控除を受けたかたなどは、申告の必要があります。

■令和元年中まった収入がなかったかたは？

申告書の職業欄に「収入なし・学生等」、所得金額の合計欄に「0」を記入し、氏名欄に押印

のうえ、提出してください。特に次のようなかたは忘れずに申告してください。

▼国民健康保険加入者または加入予定者およびその世帯主

▼後期高齢者医療保険加入者およびその世帯主

▼介護保険加入者およびその世帯主

▼国民年金免除申請をお考えのかた

▼所得や税関係の証明書が必要なかた

※障害年金や遺族年金は、町・県民税の算定には含まれないため、申告する収入、所得金額に記載しないようにご注意ください。この収入のみの時は、収入なしと申告してください。

■申告に必要なもの

- (1) 申告書および印鑑
- (2) 個人番号カードまたは番号確認の書類と身元確認書類（こ

高齢者の障害者控除対象者認定制度について

身体障害者手帳等をお持ちでなくても、介護保険で要支援・要介護の認定を受けた高齢者（65歳以上）等のうち、寝たきり・認知症等心身の状況により、所得税・地方税法上の障害者控除の対象者として認定される場合があります。

障害者控除の認定を受けるには、町に申請する必要がありますので、下記に問合せください。

なお、身体障害者手帳等をお持ちのかたは、すでに障害者控除の対象者ですので申請の必要はありません。

■認定基準

- ・65歳以上のかた
- ・要支援以上の認定を受け、寝たきり、認知症等心身の状況により身体障害者に準ずるかた

■申請・問合せ先

健康福祉課長寿介護担当
☎61-1000 へ

自分で記載した申告書を郵送または窓口で提出する際は、それぞれの写しが必要ですが、

◇個人番号カードをお持ちのかたは個人番号カード（顔写真入）

◇個人番号カードをお持ちでないかたは①および②の書類

①番号確認の書類
個人番号通知カード等の個人番号を確認できる書類

②身元確認書類
運転免許証、公的医療保険の被保険者証等の本人確認できる書類

③収入と支出が確認できる書類

◇給与・公的年金所得 令和元年分の源泉徴収票

◇営業・不動産所得 収支内訳書、売上や仕入れの帳簿類、必要経費の領収書など

◇農業所得 収支内訳書、農産物の出荷伝票、仕切書、領収書、借入金利子証明書、新しく購入した農機具などに関する書類、補助金、交付金、保証金等の収入が確認できる書類、取扱い通帳など

◇雑所得・一時所得 支払証明書や通帳など収入金額が確認できる書類

◇譲渡所得 売買契約書や経費の領収書、公共事業による売買の場合は3枚組の収用証明書

④所得控除を受ける場合に必要な障害者手帳、障害者控除対象者認定書等の各種証明書や領収書、支払金額を証明する書類など

⑤通帳など申告者本人の口座が確認できる書類

令和2年度分 町・県民税 申告相談受付日程

月 日	相談会場	午 前		午 後	
		受付時間	対象地区	受付時間	対象地区
2月7日(金)	役場大会議室	9時～11時	全地区 (年金収入のみのかた対象)	1時～4時	全地区 (年金収入のみのかた対象)
2月10日(月)	役場大会議室	9時～11時	小国町1・2	1時～4時	坂町1・2
2月12日(水)	役場大会議室	9時～11時	本町1・2	1時～4時	坂町3・5
2月13日(木)	役場大会議室	9時～11時	緑町1、地蔵町	1時～4時	緑町2
2月14日(金)	役場大会議室	9時～11時	駅前1・2、栄町1・2	1時～4時	本町3、幸町1
2月17日(月)	役場大会議室	9時～11時	上岩井沢	1時～4時	幸町2
2月18日(火)	役場大会議室	9時～11時	町原	1時～4時	東原
2月19日(水)	役場大会議室	9時～11時	あけぼの	1時～4時	松岡
2月20日(木)	役場大会議室	9時～11時	綱木箱口	1時～4時	伊佐領
2月21日(金)	役場大会議室	9時～11時	平林、西	1時～4時	増岡
2月24日(月)	役場大会議室	9時～11時	休日相談	1時～4時	休日相談
2月25日(火)	役場大会議室	9時～11時	種沢	1時～4時	大滝
2月26日(水)	役場大会議室	9時～11時	岩井沢2	1時～4時	岩井沢1
2月27日(木)	役場大会議室	9時～11時	兵庫館1・2	1時～4時	旭町、小芦、北
2月28日(金)	役場大会議室	9時～11時	田沢頭、今市	1時～4時	大宮、宮の台
3月2日(月)	役場大会議室	9時～11時	若山、古田、金目	1時～4時	小渡、館
3月3日(火)	役場大会議室	9時～11時	尻無沢	1時～4時	舟渡
3月6日(金)	梅花皮荘	9時30分～11時	小玉川、泉岡	1時～3時30分	長者原、玉川中里
3月9日(月)	旧白沼小中	9時30分～11時	白子沢、間瀬	1時～3時30分	沼沢1・2
3月10日(火)	玉川コミュニティセンター	9時30分～11時	玉川、玉川新田、足水中里、樽口	1時～3時30分	中田山崎、片貝、足野水、市野沢、百子沢
3月11日(水)	水源の郷交流館	9時30分～11時	上叶水、下叶水	1時～3時30分	新股、河原角、上大石沢、下大石沢
3月12日(木)	越中里公民館	9時30分～11時	越中里、長沢	1時～3時30分	六ヶ字
3月13日(金)	りふれ	9時30分～11時	三ヶ字、石滝	1時～3時30分	五味沢

2月24日(月)の休日申告相談日にマイナンバーカード申請窓口を開設します

2月24日(月)の休日申告相談日にマイナンバーカード交付申請の受付を行います。マイナンバーカードは、さまざまな場面で本人確認書類として利用できるほか、来年度にはマイナンバーカードを利用したキャッシュレスポイント事業も開始予定です。申請を希望するかたはぜひご利用ください。

■受付日時 2月24日(月)9:00～16:00

■受付場所 役場町民税務課窓口

■必要書類 ①通知カード・個人番号カード交付申請書(紛失されたかたはお問合せください) ②住民基本台帳カード(お持ちのかたのみ) ③本人確認書類(運転免許証など顔写真付きのものであれば1点。それ以外は2点必要になります)

■問合せ先 町民税務課(☎62-2260)へ

申告に関する相談が必要なかたは、できるだけお住まいの地区相談日にお越しくださるようにご協力をお願いします。なお、足水中里、樽口、足野水、市野沢、百子沢地区のかたは、相談会場が「玉川コミュニティセンター」に変更になりますのでご注意ください。

また、お住まいの地区相談日にご都合がつかないときは、ほかの地区の相談日にお越しいただいても差し支えありませんが、初日、休日相談、最終日など日によって混み合う場合もありますのでご了承ください。

3月4日(水)、5日(木)は、出先相談会場に向けたシステム切り替えを行うため申告相談を行うことができませんのでご注意ください。

～申告相談は3月13日(金)までです～

■問合せ先

町民税務課税政管理室(☎62-2403)へ

安部康之さんがスポーツ推進委員功労者表彰を受賞

小国町スポーツ推進委員の安部康之さん（あけほの）が、令和元年度スポーツ推進委員功労者表彰を受賞されました。

安部さんは、平成16年4月に町体育指導員（現スポーツ推進委員）に就任以降、町の特性を生かしたスキー競技はもちろん、ニユースポーツをはじめ生涯スポーツ全般にわたり熱心に普及・指導に努められました。また、総合型地域スポーツクラブ設立に深くかかわり、現在も副理事長として運営に携わっていると、平成28年度からは町ス

ポーツ推進委員会会長としてリーダーシップを発揮されるなど、本町のスポーツ振興に貢献されています。



人権擁護委員に佐々木達哉さん

1月1日付で、佐々木達哉さん（東原）が人権擁護委員に委嘱されました。任期は3年間です。

人権擁護委員は、町が議会の同意を得て候補者を推薦し、法務大臣が委嘱するものです。普段の生活の中で困っていることがあるかたは、人権擁護委員に気軽にご相談ください

い。また、町でも人権擁護委員による相談会を行っています。



佐々木 達哉さん（東原）

避難所施設で公衆無線LAN (Wi-Fi) 提供開始

町では、災害時における情報伝達環境等の向上を図るとともに、平時においても施設利用者が、町内観光情報や行政情報等を取得しやすい環境を整備し、利便性の向上に寄与するため、町民総合体育館と多目的屋内運動場あいべ、スポーツ交流センターアスネット、健康管理センターの4カ所の避難所に公衆無線LAN (Wi-Fi) を整備しました。公衆無線LANへの接続方法等については、各施設に掲示してありますので、ご確認ください。



Wi-Fi

■問合せ先

総務課管財危機管理担当 (☎62-2112) へ

大相撲の東関親方（元潮丸）がご逝去されました



大相撲の元幕内潮丸の東関親方（本名：佐野元泰氏）が、昨年12月13日、享年41歳でご逝去されました。東関親方の告別式は、12月18日に東京都葛飾区の東関部屋でしめやかに執り行われました。

元潮丸は、1994年3月場所で初土俵を迎え、2002年1月場所で十両に昇進、同年7月場所で十両優勝、同年9月場所で新入幕を果たし、最高位は前頭10枚目。2009年5月場所千秋楽で引退を表明。同年6月16日、第12代東関親方定年退職に伴い、13代東関を襲名し、東関部屋を継承されました。



ここに東関親方のご生前のご厚情に深く感謝するとともに、故人のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

▲2004年から小国町夏合宿が始まり、はじめは力士として、その後は親方として来町。合宿期間中には相撲以外に介護施設訪問など精力的に活動をしてくださいました。

夢あるプランに熱いアドバイス 『白い森おぐにビジネスプラン創出塾』

新たなビジネスへのチャレンジを応援する白い森おぐにビジネス創出塾のビジネスプランコンテストが、1月25日(土)アスモ多目的ホールで開催されました。ビジネスプランコンテストは昨年度に続き2回目の開催ですが、今回は特に応募プランの事業化に向けたフォローアップに力を入れており、当日もさまざまな分野のプロがその場でアドバイスしながらプランを磨き上げる仮想経営会議の形式で行われました。

小国高校や町内事業者から7つのプランが発表され、まるごと塾で講師を勤めた石井和宏さんのコーディネートのもと、価格設定や市場のニーズ、新たな付加価値などさまざまな観点からアドバイスがあり、応募者は熱心に聞き入りながら、さっそくプランの練り直しに向かっていました。

最優秀賞には、塩川秀夫さん(野沢酒造店)のプラン「限定ボトル桜川&ツアー開発」が選ばれ、賞金30万円が授与されました。塩川さんは、これまでとは違ってお客様にも桜川を知ってもらえるよう、酒米づくりから体験して限定ボト



ルの日本酒を作るプランを発表し、高い評価を得ました。アイディア部門では小国高校生から、地元の食材を使ったカフェをオープンして町の人が交流できる場所を作りたい、小国を紹介するバーチャルユーザーを生み出したいといったプランが発表されました。今回のコンテストはあくまでも通過点であり、それぞれのプランの実現に向けたサポートは続きます。町としても、白い森おぐにの魅力ある地域資源をビジネスにして「みんなで稼ぐ」ためのチャレンジを、これからも応援していきます。

<白い森おぐにビジネス創出塾 応募プラン>

■起業アイディア部門

- | | | |
|-------------------|---------------------|----------|
| 永井 珠莉 さん (小国高校3年) | 小国のおいしいカフェと食堂 | 起業アイディア賞 |
| 渡邊 佑真 さん (小国高校3年) | 地方活性化バーチャルユーザー | オーディエンス賞 |
| 阿部 千穂 さん (小国高校教諭) | 地方創生×5感デザイン★スタディツアー | |

■起業・創業部門

- | | | |
|---------------------|------------------|------|
| 山口 ひとみさん (旬彩工房) | 人間力を育む暮らし体験プログラム | 優秀賞 |
| 渡部 哲也 さん (渡部肉店) | ふるさと納税用限定切り落とし品 | |
| 塩川 秀夫 さん (野沢酒造店) | 限定ボトル桜川開発&ツアー開発 | 最優秀賞 |
| 佐藤 和美 さん (おぐに地鶏フーズ) | やまがた地鶏を活用した缶詰開発 | |



募集

町営住宅入居者募集

①町営住宅小坂町団地

3DK 3戸(1・4階)

■家賃 所得と家族構成による

■その他 所得制限あり

②町営住宅あけぼの高齢者団地

1LDK 1戸(1階)

■家賃 所得と家族構成による

■対象

▽世帯所得が15万8千円以下

で住宅に困っているかた

▽60歳以上のかたで自立した

生活を送ることができ、同

居するかたが配偶者または

60歳以上の親族であること

①〜②共通

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 2月10日(月)

◎入居時期 3月上旬以降

◎問合せ 地域整備課建設管

理室(☎62・2431)へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 10戸

■家賃 所得により決定

■対象 入居世帯の所得制限あり

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期間 2月3日(月)〜7日(金)

■入居時期 3月下旬

■申込先 置賜総合支庁西庁

舎(長井市)総合案内窓口

■問合せ 県営住宅指定管理者

(株)西王不動産置賜事務所(☎

0238・24・2332)へ

健康生活支援講習 参加者募集

町赤十字奉仕団では、災害

時のこころのケア、ボラン

ティア活動等に生かせる知識

や技術を習得するために健康

生活支援講習を次のとおり開

催します。皆さんの参加をお

待ちしています。

■日時 3月10日(火)13時〜15時

■場所 健康管理センター森

のホール

■内容 ハンドケア・リラク

ゼーション

■申込期限 2月28日(金)

■その他 動きやすい服装で

お越しください。

■申込・問合せ 健康福祉課

福祉担当(☎61・1000)

へ

お知らせ

古物営業法が改正されま した

古物営業法が改正され、許
可制度の見直しが行われまし
た。現在許可を受けているか
たが新しい許可制度に移行す
るためには、令和2年3月31
日までに主たる営業所を管轄

する警察署に届出する必要が
あります。届け出をしない場
合、令和2年4月1日に許可
が無効となります。詳細は県
警察本部ホームページをご覧
いただくか、各警察署の生活
安全課(係)にお問合せくだ
さい。

■問合せ 県警察本部生活安

全課許可認定係(☎023

・626・0110)へ

知事と若者の地域創生 ミーティング参加者募集

吉村知事と車座になって、地域の元気創出策など
について意見交換しませんか。ぜひご参加ください。

■日時 令和2年3月24日(火)
午後4時〜午後6時

■場所 小国町内(決定次第、参加者に個別に
ご連絡をさせていただきます)

■対象者 15歳〜45歳までの町民(中学生を除く)

■定員 10人程度(申込多数の場合は参加を調
整させていただきます。)

■申込方法 ①氏名②住所③年齢④電話番号⑤勤務
先・学校名⑥こうなったらいいと考えることを記
入の上、電話、FAX、Eメールで申し込みください。

■申込締切 令和2年2月20日(木)

■その他 事前に申し込みにより託児が可能です。

■申込先 小国町役場総合政策課へ

☎62-2264 / FAX62-5464

Eメール seisaku@town.oguni.yamagata.jp

2月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■ 4カ月児健診

- ・期 日 2月28日(金)
- ・受付時間 13:05~13:15
- ・対 象 令和元年10月生まれ

■ 1歳児健診

- ・期 日 2月28日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成31年2月生まれ

■ 2歳児歯科健診

- ・期 日 2月19日(水)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 平成29年6月、7月、8月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合せ先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■ 2月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要

■対象者 なかよし広場 就学前のお子さんとお家のかた

■その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合せ先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

2月9日(日)	米沢 村山歯科医院	0238-23-8640
2月11日(火)	長井 鈴木歯科医院	0238-84-6616
2月16日(日)	高畠 千葉歯科医院	0238-57-4618
2月23日(日)	米沢 笹生歯科医院	0238-21-0331
2月24日(月)	長井 岩崎歯科医院	0238-85-2003
3月1日(日)	米沢 伊藤歯科医院	0238-23-1538

求 人 情 報

右の表は1月21日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。
求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

事業所名	職種	求人数	勤務時間
(株)サンコーポレーション	ホールスタッフ(フルタイム、パート)	計4人	8:30~17:00他
安部工業(株)	一般作業員	1人	8:00~17:00
(株)高橋商会	ガソリンスタンドスタッフ	1人	8:00~17:00他
(株)高橋工務店	土木技術者(見習い可)、 建築技術者(見習い可)、 現場作業員	各2人	8:00~17:00
(株)旭林業	林業技術士、大型運転手	3人	7:30~17:15他
アクサ生命保険(株)長井オフィス	商工会議所・商工会共済・ 福祉制度推進スタッフ	2人	9:15~16:15他
斎藤建設(株)	一般作業員	2人	8:00~17:00
社会福祉法人 小国福祉会	介護員、介護員【年度更新】、 看護師(常勤正規職員)	各1人	6:30~15:30他
遠藤建設(株)	重機オペレーター、土木施 工管理技士、一般作業員	計4人	8:00~17:00
山和建設(株)	2級土木施工管理技士・2級 建築施工管理技士【本社】、 1級土木施工管理技士・1級 建築施工管理技士【本社】	各3人	8:00~17:00
(有)小国技研	ボーリング洗浄工及び作業管理補助	2人	8:00~17:00
荒川興業(株)	製造加工【正社員・正社員以外】	計3人	8:20~17:10
(株)山芳工務店	電気設備工	1人	9:00~18:00
長谷川工業(株)	事務スタッフ(製造管理)、 加工スタッフ(カーボン)	各1人	8:30~17:00
社会福祉法人 愛育福祉会 認定こども園すみれ保育園	事務員、調理師、調理員(パ ート)	1人	8:30~17:15他
NPO法人 まんまる	支援員	1人	7:00~18:30の間の 5時間程度

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

今月の納税 2020.2

2月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

● 2月26日(水) 水道料

● 3月2日(月) 国民健康保険税・後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合せ先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

2月の あいべイベント 第3回YuiキッズフットサルU-9大会



- 日時 2月15日(土)8:00受付・9:00試合開始
- 対象者 小学校3年生以下 1チーム5人以上
- 参加費 1チーム1,000円
- 申込締切 2月12日(水)

■申込・問合せ先
(☎62-5808)



相談

▽年金相談

- 日時 2月19日(水)
10:30～14:00
- 場所 役場
- 対応者 米沢年金事務所職員
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

～ 第25回雪の学校 ～

- 日時 2月29日(土)～3月1日(日)
 - 内容 マタギと森のハイキング、火まつり、交流会
 - 定員 50人
 - 参加費 大人10,000円
小学生以下4,000円
- ※りふれに宿泊されるかたは、別途料金がかかります。
- 持ち物 防寒着上下、長靴、手袋など
 - 申込締切 2月14日(金)
 - 申込先 雪の学校実行委員会事務局 蛸原
(FAX: 62-2143・Email: buna.matagi@gmail.com)へ
 - 問合せ先 小国町観光協会 (☎62-2416) へ



マタギの里小玉川雪まつり

- 日時 3月7日(土)～3月8日(日)
 - 場所 旧小玉川小中学校周辺
 - 内容 さいず焼き、交流会、スノートレッキング、雪の中の大冒険
- ※スノートレッキングの定員は20人(10人に満たない場合は中止)、雪の状況により内容が変更になる場合があります。
- 申込締切 2月25日(火)(スノートレッキングのみ)
 - 申込・問合せ先 小玉川地区自整協事務局携帯 (☎090-2795-1474) へ

スノートレッキング&メープルサップ体験

- 日時 3月7日(土)9:00～15:00
- 場所 神明山、経塚山
- 集合 おぐに開発総合センター
- 定員 20人
- 対象 雪山初心者向け、親子での参加もOK(小学校中学年から)
- 参加費 2,500円(試食代、保険料等)
- 持ち物 スノーウエア、帽子、手袋、防寒着、長靴、かんじき等(貸出可)、昼食、飲み物、空のペットボトル
- 申込締切 2月28日(金)
- 申込・問合せ先 NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊 (☎62-5955) へ

総合センター 図書室から

- ～新着図書～ 休館日 毎週月曜日・祝日
- ◇ケーキの切れない非行少年たち 宮 口 幸 治
 - ◇祝祭と予感 恩 田 陸
 - ◇大名倒産 上・下 浅 田 次 郎
 - ◇ツナグ 想い人の心得 辻 村 深 月
 - ◇上級国民/下級国民 橘 玲
- ～蔵書点検による休室のお知らせ～
 蔵書点検を実施するため、2月17日(月)～28日(金)までの間、図書室を休室といたします。利用者の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。なお、図書の返却は1階の温泉受付、2階の教育委員会で承ります。
- 問合せ先 教育振興課 (☎62-2141) へ

入札結果情報 (令和元年12月21日～令和2年1月20日実施)

単位(円)

入札日	工事名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R2.1.16	平成30年度繰越社会資本整備総合交付金事業 町道松岡黒沢峠線改良舗装工事	松岡	R2.3.27	34,729,000	安部工業(株)	34,000,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
 ●総務課 (行政管理担当/管財・危機管理担当/財政担当) ☎62-2112 ●総合政策課 ☎62-2264
 ●会計室 ☎62-2406 ●観光経済室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

(1 2 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

北 佐藤 ^{ひなり} 柊菜李 (博 和
由 衣

折 戸齋藤 ^さ 紗 奏 (幸 則
登 志 江

小国小坂町 大江 ^{けいた} 啓 太 (知 生
菜 里

おくやみ申し上げます。

新 原 佐藤 富壽雄 (84)

古 田 齋藤 奈美子 (68)

増 岡 齋藤 タカ子 (82)

岩井沢 高橋 利 工 (89)

中 島 山 口 哲之助 (78)

岩井沢 佐藤 重 利 (85)

白子沢 市川 せ つ (98)

小国小坂町 小 嶋 カ ネ (95)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (令和元年12月31日現在)

人口	男	・	・	・	3,678人	(+ 2)
	女	・	・	・	3,722人	(- 4)
	計	・	・	・	7,400人	(- 2)
世帯数					3,026世帯	(+ 7)

編集後記

1月28日現在、中心部の積雪は0。町例年1月末から2月中旬にかけては、中心部で1m以上、周辺部で2〜3mを超えて積雪があり、まだ降るのかと頭を抱えている頃、町では、この異常気象に伴う町内への影響、今後の水不足等が懸念されることから1月24日に町異常気象対策連絡会議を設置しました。雪はあってもなくても大変なことを認識した今冬、やっぱり雪国に雪は必要ですね。(斎藤)

仕事 vol.20 図鑑

ハイコー株式会社

代表者 代表取締役 穴沢 洋一
 従業員数 16人
 所在地 小国町岩井沢752-7
 事業概要 配電工事、一般電気設備工事

ハイコー(株)に入社して8年目の田村祐介さん(兵庫館・川西町出身)。田村さんは、「建設関係の仕事に就きたいと思っていた時、無資格でも指導・教育すると社長に言われ製造業からの転職を決めました。実際に入社後2〜3年で第2種電気工事士を取得しましたし、現在も第1種取得にチャレンジしており、会社が支援してくれています。現在の仕事内容は電気を通すためのケーブルの設置やそのための資材・工具を使って電気が通るルートづくりをしています。工事では高圧線なども取り扱うため、安全作業が求められますし、社長からは常に仕事をきれいにするよう言われています。工事をしている、家庭の電気がついた時に『ハイコーさん、またよろしくお願いします。』と言われたときはとてもやりがいを感じます。個性豊かな同僚が多く、日頃から談笑したり、チームワークよく仕事を進められています。今後は、工事に必要なさまざまな資格を取得し、きれいかつ安全に仕事をしたいです。同僚が親切丁寧で楽しい職場ですので、若い人にぜひ来てもらいたいですね。」と話してくださいました。

同社では、昭和初期から代表の先々代が事業をはじめ、平成4年にハイコー(株)となりました。先々代から資格取得は会社で後押しし、多くの社員が国家資格を有する総合電気設備のプロ集団。昨年11月からは東北電力のサテライトサービス店として、平日夜間の緊急時には同社が駆けつけています。また、電気設備工事にかかる工具や特殊機械など最新鋭のものをそろえ、安全かつ効率的な業務体制を整えており、県内外で活躍しています。同社では、小学校の窓ふきの協力や公共施設への照明器具の設置寄贈など地域活動にも貢献しており、地域とともに歩む電気工事屋さんとして確かな技術と親切丁寧なサービスを日々提供し続けています。



▲事務所で現場の図面を先輩と確認する田村祐介さん

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.9



⑨ 「玉川第二発電所建設現場」

東北自然エネルギー(株)が現在玉川下新田地内に建設を進める「玉川第二発電所」。荒川水系の玉川には、昭和13年に運転開始をした長者原発電所、昭和59年に運転開始をした玉川発電所に次いで3つ目の水力発電所となります。玉川第二発電所は、玉川発電所下流から取水し、導水路(トンネル)をとおって発電所上部まで水を引き、高低差を利用して最大出力14,600kWの発電を行う水路式発電所で、発電に使用した水は放水路を経て玉川に放水されます。建設現場近くの道路を通る機会はあるもののなかなか工事現場全体を見ることはできませんが、現在は導水路の掘削が進められ、2021年4月からの運転開始を目指しています。